

大阪船場百年名家を訪ねて

2019.3.7

企画委員会

1. 実施日：2019.5.10
2. 集合場所と時間：大阪市役所西側出口付近。13：00
3. 見学方法：参加人数は約 80 人前後と予測されるので、1 から 6 班の 6 グループに分ける。
1、2、3 班と 4、5、6 班：スタート場所は同じだが逆コースとする。2 グループはそれぞれ 10 分間隔でスタートする。（各班 15 人以下とする）
4. 1 班：市役所西側出口集合（13：00 スタート）難波橋～大阪取引所～新井ビル～野村ビル～小西家～青山ビル～伏見ビル～浪速教会～オペラドメーヌ～愛珠幼稚園～適塾（入館料 ¥140）～中央公会堂 ～解散（2 班、3 班はスタートを 10 分遅くする。）
4、5、6 班は市役所西側出口集合後逆方向に向かう。中央公会堂～適塾

5. 主な訪問場所概要

- 1) 小西家住宅：1903 年（明治 36 年）に建てられた和風の商家であり、その大部分が重要文化財に指定されている。大阪大空襲も免れ、阪神大震災で倒壊することもなく、船場商人の生活文化を今に伝える奇跡的な大型町屋になっています。店舗棟は今も現役の事務所として使われています。
- 2) 適塾：洪庵は 1838 年長崎で勉学を終え、大阪に戻り、瓦町に蘭学塾（適塾）を開きました。同年 7 月、摂津名塩（現在の兵庫県西宮市）の億川百記の娘八重と結婚。1845 年適塾は人気が出て生徒を収容できなくなったので現在地に町屋を購入した。諸国より俊英が入塾する。（1855 年福沢諭吉入塾）1862 年幕府の要請により、将軍とその身内の主治医に就いた。1863 年（53 歳）で江戸にて死亡する。明治元年（1968 年）江戸幕府崩壊により適塾閉鎖。1838 年開塾から 1968 年の閉鎖まで 30 年間に適塾で 1000 人の俊英が学んだ。現在適塾は国の重要文化財であり、大阪大学が管理している。

緒方洪庵像



小西家

